

●事業実施状況報告(2月末)

		平成31年	令和2年
会員数(人)	男	1,413	1,457
	女	470	500
	計	1,883	1,957
就業実人員(人)※		1,583	1,629
就業率(%)		84.1	83.2
受注件数(件)	公共	53	55
	民間	3,618	3,797
契約金額(千円)		659,886	695,112

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

●作業日報の提出時の再確認(お願い)

会員、並びに受注契約件数の増加に伴い、毎月1,500名を超える就業会員の皆様から、作業日報が事務局に届きます。その中には、「会員番号」「会員氏名」「就業先名」「就業時間」「合計時間」等の記載漏れ・誤記などが大変多く見られます。事務局職員は、その確認作業に追われ、事務処理に支障をきたしております。

会員一人ひとりが、作業日報の再確認をしていただき、円滑な事務処理にご協力をお願いいたします。



お知らせ

3月1日発行の広報かしわでシルバー人材センターの特集記事が載りました。就業会員のインタビュー記事と写真でセンターの実情を掲載しました。ホームページにも掲載しましたので、ご覧いただければと思います。

センター  
緊急  
連絡先

080-1293-8569

この電話はセンター業務時間外に应答しません。連絡は、緊急なことかどうかを考えてから電話をしてください。

●配分金支払日

3月分	4月27日(月)
4月分	5月25日(月)
5月分	6月25日(木)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

＼ ゆずりはクイズ Part43 ／

- Q1 シルバー学び隊事業「折り紙講座」で折られた2作品は何でしょうか?
- Q2 女性会員交流会で「最近増加傾向がみられる事故」とは何でしょうか?
- Q3 令和2年度安全標語最優秀作品は何でしょうか?

●ヒント：2面、6面、7面を見てください。

答をハガキに書いて事務局に送ってください。締め切りは**5月22日(金)**です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。

(会員番号と氏名を忘れずに書いてください。)

◎ゆずりはクイズ Part42の正解

- Q1の答：いつも綺麗にもらってありがとう
- Q2の答：笑顔はどんな効果がありますか
- Q3の答：(一台の)自転車

# ゆずりは

YUZURIHA

第115号

編集・発行 令和2年4月20日

公益社団法人 柏市シルバー人材センター  
〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1  
柏市保健勤労会館2階  
TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150  
URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>  
メール [kashiwa@sjc.ne.jp](mailto:kashiwa@sjc.ne.jp)



目次

- 2P 焼津市、西宮市視察 / 40周年記念式典のお知らせ / 安全だより
- 3P 促進協セミナー / 近隣センター研修
- 4P 駐輪場接遇 / 植木講習 / シルバーの顔
- 5P 地域班活動(柏東地区) / 就業先訪問 / ジョブコラム
- 6P 女性会員交流会 / 福祉政策課からのお知らせ
- 7P シルバー学び隊(折り紙講座) / 新入職員の紹介 / パレット柏のお知らせ
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記



シルバーの  
顔

「安全第一で全力投球」  
佐藤 会員 ▶ P4をご覧ください!

編集  
後記

春到来で桜も満開となりましたが、今年はコロナウイルスの影響で花見がままにならず、その上オリンピックも延期となってしまいましたね。シルバー人材センターも今は全ての部会活動・地域班活動を自粛しております。残念ですが仕方ありません。今しばらくの間は、皆揃ってウイルス感染の自己防衛に努めて、この窮地を凌ぎましょう。そして、持ち前のエネルギーで跳ね返しましょう!春は必ずやって来ます。【広報部会T】

令和2年度柏市シルバー人材センター  
安全標語最優秀作品

ちょっと待て 焦る気持ちが事故のもと

## ●静岡県焼津市シルバー人材センター様、兵庫県西宮市シルバー人材センター様が当センターを視察されました

12月6日、静岡県焼津市シルバー人材センター様、1月23日、兵庫県西宮市シルバー人材センター様が当センターを視察されました。視察の内容は主に、

- 入会希望者への対応方法
  - ジョブコーディネーターの役割について
  - 地域班の運営について
  - 会員の拡大策について
  - センターのPR活動について
  - ジョブコーディネーターと会員、発注者との関わり方について
  - 入会説明会のDVDの視聴
  - 事故の削減について
- などの内容を中心に、活発な意見交換が行われました。



焼津市シルバー人材センター  
役職員13名が来局



西宮市シルバー人材センター  
役職員11名が来局



## 柏市シルバー人材センター 設立40周年 記念事業

令和2年9月5日(土)、アミュゼ柏クリスタルホールで、柏市シルバー人材センター設立40周年記念式典を開催します。主な内容は、会員並びに発注者の表彰式、アトラクションとして、「高齢者のための認知症予防の講演と体操」、演奏会(開智国際大学吹奏楽部)を実施します。記念式典に併せて、記念誌(全会員に配付します)の発行をします。

**設立40周年記念誌作成のご協力について**  
記念誌に掲載する就業先の状況(就業会員や就業風景)の写真撮影を進めています。就業先へ訪問の上、会員に入っただき撮影します。皆様のご協力をお願いいたします。

設立40周年記念誌作成委員会

## 安全だより



2月末現在で36件の事故が発生し、うち転倒事故は13件でした。事故件数減少のため、以下のことを励行してください。

- 1 就業先への行き帰りは時間に余裕を持ち、急がず、焦らない
- 2 作業前には必ず周囲をよくみて、段差等危険な箇所がないことを確認する
- 3 就業前には準備運動を行う

転倒事故防止のため  
準備運動を  
心がけましょう!!



## 令和2年度 安全標語が決まりました

**最優秀作**  
ちょっと待て  
焦る気持ちが事故のもと  
田村 金吾 会員作

**優秀作**  
もう一度  
見直すゆとりが身を守る  
河村 邦夫 会員作

**佳作**  
作業開始前  
気を引き締める始業点検  
鈴木 雅春 会員作

## ●定年退職予定者応援セミナーへ参画

定年退職予定者応援セミナーが令和2年1月24日(金)東京大学柏キャンパスにて開催されました。これは人生100年時代を豊かに生きる事をテーマに「柏市生涯現役促進協議会」が主催したもので当センターからは安西、



志村、田口ジョブコーディネーター並びに会員の方も参加しました。東京大学の特任講師の基調講演のあとグループミーティングが行われ、その後当センターのジョブコーディネーターからのセンターの紹介や就労状況の説明がされました。続いてのパネルディスカッションでは当センターの会員を含む5名



の方によるパネルディスカッションが行われました。参加者約100名で会場は満席、全員が聞き耳を立て特にパネルディスカッションでは会員の方の仕事を始めたきっかけや、楽しいこと、苦労したことなどざっくばらんな話で大変盛り上がりしました。終わりには各ブースでの個別説明にも参加者が立ち寄り、仕事の内容など熱心な質疑と三人のコーディネーターの親切な対応が会員確保の一助になりました。



## ●来館者の「期待」に「応える」接遇力向上研修

就業会員のさらなる接遇力向上のため「令和元年度接遇研修」が、2月13日(木)、午後1時から5時まで4時間、柏市シルバー人材センター2階会議室で開催されました。受講対象者は、各近隣センター連絡員(毎年度対象)23名と北部近隣センター就業会員1名(今年度対象、受講する就業会員が属する近隣センターは年度ごとに変わる)のあわせて24名。接遇研修は昨年第1回目を開催し、今回が2回目。柏市シルバー人材センターの山口秀明事務局長が開会の挨拶を述べ、続いて柏市地域支援課の二人の担当者から挨拶があったあと、布施近隣センターの田所所長が「近隣センター現場からのお願い」と題して講演。大要、「利用者からのクレームや苦情は、基本的な接遇に関するものが多く、管理業務チェックリストのとおり作業を進めてい



ば、イレギュラーなものとはもかく、大方の苦情は受けなくて済みます。仕事の慣れで、やるべきことが抜けていないか。第三者から見られて、おかしいと思われることをしていないか。初心に戻って、チェックリストをもう一度見直してください」と語りました。そのあと、受講者は4グループに分かれて、グループワークに入りました。「個人開放」(A・Dグループ)、「近隣センターの避難所開設」(Bグループ)、「開館遅れ・シフト勤務」(Cグループ)の3つのテーマに沿って、これまでにあった問題や課題点、その原因、対応の仕方や解決方法などについて議論を交わし、他の管理人との考え方の共有を図りました。休憩を挟んで、研修の後半は、合同会社アップグ



ロース代表・宮澤知繁氏が、公共施設での接遇力向上をテーマに講演。接遇の基本、苦情の要因とその事例、苦情対応の仕方の基本、利用者の個人情報管理の徹底、年々増加するハラスメントの問題、などについて具体的事例に即して詳しく取り上げました。受講者は、「来館者の期待に応える」就業会員の接遇のあり方を身につけるべく、熱心に学んでいました。

## ●駐輪場班 接遇研修会

駐輪場就業会員(80名)を中心に、本年度も4回(12月17～23日)に分かれて、接遇研修が行われました。第一部



としてビデオによる「のぞましいコミュニケーションのために」というテーマを映像から学習し具体的な実態を知ることができました。第二

部はシルバー会員である今村夏雄講師を招いて講演を聞くことができました。今村講師は、高齢(83歳)ですが、現役でお仕事をされており、ご自分の履歴を赤裸々にお話しされながら具体的な実態に即した問題点を指摘しつつ説明されました。最大の課題は、めいめいが「心」を大切に「奉仕」の精神で日々の就業にあたる



ことが大切であることを教えられました。第三部は担当職員の高木主事より、「グループワーク」が提示され、5名ずつの班ごとに問題解決の提案を作成し発表しました。時間を延長するほどの熱心な話し合いを経て、高木職員より適切な指導があり、今年の研修も実りある結果で終わることができました。



### 「安全第一で全力投球」 佐藤 会員

市内大型店で約3年、商品の運搬作業に就業されている佐藤会員は現在79歳、他の会員と2人で就業しております。「安全第一」をモットーに①怪我をさせないこと、②しないこと、③器物を傷つけないこと。また、全力投球で「段取りよく」、「手際よく」、そして「気持ちよく」を心に。

仕事は自分の健康のバロメータであると前向きに取り組んでおられます。●サイクリング人生 地球を5.5周 多彩な趣味の中でも特筆すべき事はサイクリングです。49歳から始めて丁度30年、走行距離は約22万kmでなんと地球を5.5周したことになります。千葉県サイクリング協会の会長を長年勤められ就任後数年で会員数、活動内容などで全国都道府県のNo.1に。自転車普及や交通安全啓発活動などに自転車関連業界、行政、マスコミなどからも注目を浴びています。70歳の

## ●植木剪定講習会

シルバー人材センターでは5年前から植木班を中心に剪定技術の向上のための講習会を開いてきました。講習会は非常に評判がよく希望も多くなり、今回は植木班だけではなくシルバー会員と市民も含めて(約50名)開催いたしました。講師は1級造園技能士で樹木医の資格をお持ちの森哲太郎会員をお迎えしました。開催日は2月18日、19日、26日、27日の4日間で時間は午前10時から昼食を



はさんで午後2時までという内容で、4日間全出席できる方とのことでした。柏には約68種類の樹木があり、その中でも松、柿、椿をはじめとした10種類の木が多く、講習の対象者も「我が家の庭、定年後の庭師、職業庭師、果樹生産者、植木生産者、道路管理者と様々な方が含まれます。講義は、プロジェクターを使用しながら多岐にわたって細かく説明と指導があり、その都度、質問による質疑応答がなされ終始熱心な雰囲気の中で進みました。作業の内容は剪定の季節、頻度をはじめ木々によって多々ありましたが、まとめとして講師は下記の点をあげています。

- 1: 作業は危険を伴うのでどんなときにも気を緩めず安全第一に行う
- 2: どんな木でも愛情をもって大事に傷つけないように扱うこと
- 3: 木は成長するので一年では終わらない、年々変わるので常に気を配ること

時には四国一周10日間で1,726km走行。75歳から77歳の3年かけて日本縦断、延べ29日間で3,800kmこれは一日平均131kmとなり、最終到達地点は本州最南端である鹿児島県佐多岬。翌年78歳でのチャレンジはなんと台湾一周、走行距離は10日間で1,000km。5人の仲間とのツアーで地元サイクリストやドイツ人女子学生、日本の歌を歌う高齢者グループとも交流を図れたとのこと。佐藤さんとお会いすると常に前向きに考える、人との交流が大好き、そして持ち合わせの世話好きというお人柄がひしひしと伝わってきました。佐藤会員の日課は体力作りには余念が無く毎朝のストレッチ、2～4kmのジョギングやスクワットなど新たな目標にチャレンジを考

## ●地域班活動 柏東地区「救命講習会」

2月9日(日)、柏東部消防署で11名が参加して普通救命講習会が行われました。救急車を呼んでから到着まで柏市、全国平均とも9分かかります。居合わせた人が救急車到着前に救命措置をすれば、何もしなかった場合に比べて命の助かる可能性は2倍以上になります。一般人



が救命処置を身に着けていると役立つ訳です。11名が3～4人の3グループに分かれ、各グループに救急隊員1名がついて指導を受けました。人形の上半身に対して①

胸骨圧迫(心臓マッサージ)、②人工呼吸、③AEDを利用する電気ショック、といった一連の手順を施すことが中心でした。今回参加の11名中、初参加は6名、救命講習経験者は5名でした。講習を受けても実際に使う場面はあまりないので、1回講習を受けただけでなく、その後も2年に一度位はまた受けると救命能力を維持・向上しやすいようです。9時からの講習は正午前で終了、解散しました。希望者6名は消防署近くのイタリアンレストラン「マレア」で昼食を取りながら歓談して別れました。【寄稿 遠藤昌雄 柏東地区長】



## ジョブ コラム

JOB column

私が柏市シルバー人材センターのジョブコーディネーターになって約二か月、まだまだ初心者マークだ。発注先との折衝も初めて、会員の希望や要望を聞いて対応するのも初めて。そういう中で心強く思うことが増えてきた。ある物流会社で製品の入ったダンボール箱をトレーラーに積込む仕事をされているAさんは、私より一回り以上先輩だが、お顔の色艶がよくお元気だ。ある日発注先会社の社長から電話があり、「先週の積荷が崩れて7箱ダメになった。」と聞いて、ええっ～と驚いたが、社長の次の言葉を聞いて更に驚いた。「積込み作業のときにAさんがドライバーに「横揺れ防止のテー

## ●柏レイソルと共に

発注者：株式会社SEPT(セプト)様

就業内容：クリーンキーパー レイソルスタジアムでのゴミの回収作業

昨年2部リーグから1部リーグに昇格し意気上がるファンとサポーターと共に今年の初戦を前にスタジアムを守り応援をしておられるシルバー会員の皆さんにお話をお聞きしました(当日は、浜田会員 宇治山会員 中村会員 町田会員の4名が就業)。このお仕事は始まってまだ2年ほどですが、年間10～14試合行われるホームゲームの時に試合前3時間、ハーフタイム1時間、試合後1時間半ほどの長い時間の作業を受け持ちます。作業の内容は広いスタジアムに置かれている16か所のごみ箱のごみの回収と管理が主ですが、ゲーム中も含めてスタジアムの中を周りながらごみの回収に気を配って行っています。作業には観衆もファンもサポーターも協力的で作業には支障はありませんが、広い個所を動き回り



ながらの作業なのでスタッフの参加も予定されていますが、十分でない時もあり、かなりの負荷があります。また観衆もゲームの内容によって7千人から多い時は1万以上の観衆で埋め尽くされるのでごみの量も変わるとのことでした。今年はチームのリーグ優勝を目指して応援をしながら楽しく作業をしたいと頑張っていますとのことでした。



プを巻く方が良くないか?』と聞いてくれたので、早速改善提案ができた。Aさんに感謝している。」本当に良かった。知恵ですね。もう一つ、スーパーの品出し担当のBさん。Cさんが体調不良で何回か休む時に、都合がつく限りピンチヒッターをやっていただいた。Bさんにお礼の電話をすると、「お互い様だよ。」本当に有難かった。人生百年時代。どうやって百年も生きられるかと思ったこともあったが、シルバー人材として助け合い知恵を出して日々過ごせば、豊かな人生を送れると思う。ジョブコーディネーターとして学ばせてもらっているので、しっかり橋渡しをしなくてはと思う。

【ジョブコーディネーター 志村 明彦】

## ●和気あいあいと情報交換「女性会員交流会」開催

女性部会主催の「女性会員交流会」が、2月19日(水)、アミューズ柏会議室Bで開かれました。前回、11月に開催した女性会員交流会は、就業職種別(屋内外清掃作業および近隣センター就業会員)でしたが、今回はさらに多くの女性会員に参加してもらうため、地域や就業職種に関係なく参加希望者を募り、さまざまな職種の女性会員10名と関係者6名の計16名が参加しました。月川会長は、「一昨年から、女性会員同士の交流を深めるため、また、口コミによる会員拡大、就業拡大と女性会員の活躍の場を広げていくために交流会を開催しています。1月17日現在、センターの会員数は1,972人でそのうち女性会員は503人と500人を超え、約4分の1を占めるまでになっています。就業率は77.3%(全体81.6%)で全体よりやや低いですが、この交流会を活性化して、さらに活動を広げていきたいと思います」と述べています。また、山口常務理事からの挨拶では、「最近、就業内容として介護施設やスーパーではカートの運搬だけでなくバックヤードに入っ

たっちは視野を広げてご協力をお願いします」との話がありました。日野副会長から女性部会の概要および活動状況について紹介があり、また、最近、増加傾向が見られる事故について、特に就業先へ向かう途中(自転車、徒歩)や就業中の転倒事故が多いことに注意を喚起していました。このあと参加者は、各自、就業先、就業して良いと思うこと、困っていること、その他意見、要望などを順に披露して自己紹介し合ったあと、2つのグループにわかれて活発なフリートーキングに入りました。センターの和田主任からは〈女性向け〉就業情報の紹介があり、「ご自宅から近いところで無理のないように。この日のこの時間だけというのでもいいと思いますから、就業内容、就業条件を見て担当のジョブコーディネーターにご連絡を頂ければ幸いです」と話がありました。



## 柏市役所保健福祉部福祉政策課からのお知らせ

### ●かしわフレイル予防ポイントカードを作ってみませんか?

柏市では、令和2年4月1日から、40歳以上の市民を対象として、健康づくり活動やボランティア活動の参加に、WAONポイントを付与する制度を始めています。

対象となる健康づくり活動に参加すると、1回あたり20ポイント、ボランティア活動に参加すると1回あたり100ポイントが付与され、WAON(電子マネー)にチャージして、お店での買い物やインターネットでのショッピング

などに使用することができます。(上限5,000円)

シルバー会員の皆様も、普段のシルバー人材センターのお仕事の他に、これ

を機会に様々な活動に参加して、お得に健康づくりをしてみませんか?



### ●カード発行窓口

■柏市役所、沼南庁舎、柏地域医療連携センター(平日8時30分~17時15分、祝日及び年末年始除く)

■かしわ生涯現役窓口(パレット柏内)(平日10時~16時、祝日及び年末年始除く)

### ●発行に必要な書類

本人確認書類  
(運転免許証、マイナンバーカード、保険証など)

### ●問い合わせ先

柏市保健福祉部地域包括支援課 04-7167-2318  
柏市保健福祉部福祉政策課 04-7167-1171



活動の一例(左:フレイルチェック、右:運動、スポーツ)

## ●シルバー学び隊事業「折り紙講座」

今回初めてシルバー会員の皆さんに折り紙講座の開催を企画しました。第1回は2月12日。第2回、第3回は中止。折り紙は皆さんもご存じの通り日本の古い文化財の一つで300年前から行われていたという記録があります。「折り鶴」で代表され子供の時には誰もが一度は折ったことがある夢の遊びです。第1回の参加は10名と少し寂しい数でしたが、これから回を重ねるごとに増えることを期待しています。(講師:光ケ丘地区長 山田 輝雄 会員)今年日本ではオリンピックが開催(一年延期となりました)されますが、千葉県でも3会場で行われる予定で、たくさんの外国人の参加、来場が見込まれています。そこでこの折り紙の作品をおもてなしとしてプレゼントする企画を立て予定しています。皆様もこの企画に参加して世界の皆さんへ日本の文化を広めるボランティアにご協力していただきたいとのことでした。第1回の作品は「五輪に因んで五色の色紙を使った鶴」とオリジナルの花の2作品でした。巧みな話術で一人一人手をとって指導する講師の技ですっかり魅了された1時間30分でした。第2回は「桜の花びらと五色の折り鶴」が予定されています。



## ●柏市シルバー人材センター新入職員紹介

柏市シルバー人材センターに、新入職員が入りました。どうぞよろしくお願いいたします。

New Staff

JOB Coordinator  
ジョブコーディネーター

入山 登 さん  
(北部担当)

New Staff

JOB Coordinator  
ジョブコーディネーター

岩崎 克康さん  
(北部担当)

現在のセンターのジョブコーディネーターの体制は、以下のとおりです。今後とも、柏市シルバー人材センターをどうぞよろしくお願いいたします。

北部担当	安西職員 入山職員	志村職員 岩崎職員
南部担当	田口職員 富岡職員	新井職員 吉田職員

## 【パレット柏窓口の体制が変わりました】

パレット柏のシルバー窓口は、4月1日(水)から、平日の午前10時から正午まで、午後1時から午後4時までの時間帯でかしわ生涯現役窓口職員(柏市)が対応します。窓口では、作業日報の受取りと配付、勤務実績通知書の受取り、健康診断書の受取り、その他(ローテーション表、退会届の提出)に対応します。来場された会員は、窓口を用意した「会員提出書類等管理簿」に必要事項(提出日時、会員番号、会員氏名、提出書類のチェック)を必ずご自身が記入してください(窓口の職員は対応できません)。

提出書類は、すべて専用ボックスで預かりセンター職員が回収します。



Better Tennis, Better Life  
公益財団法人 吉田記念テニス研修センター  
〒277-0812 千葉県柏市花野井 936-1

TEL 04-7134-3030

HP www.tennis-ttc.or.jp  
FB www.facebook.com/TTC.Tennis  
MAIL kikaku@tennis-ttc.or.jp

